



未来のために学びサイクル

7/13 穂高北小学校 環境学習会

市とサントリーとが本年2月に締結した連携協定の一環として、穂高北小学校で環境学習会が開かれました。学習会では、市で取り組むボトルtoボトルのリサイクルについて、「地球環境を守るために、自分には何ができるのか」をテーマに学びました。

講師を務めたサントリーの坂井公紀さんは、「資源には限りがあり、使えば使うほど少なくなってしまう。『混ぜればごみ、分ければ資源』をキーワードに、限りある資源を大切に使ってほしい」と話しました。

学習会を終えた児童は、「分別をしていない人に教えてあげて、自分もしっかり分別をしていきたい」と、今後の抱負を発表していました。

新鮮野菜で里山の魅力をPR

7/24 SAKURA マルシェ in 光城山 軽トラ市

地元の農家の皆さんが新鮮な野菜などを軽トラの荷台で販売する「SAKURA マルシェ in 光城山」(プロジェクト主催)が登山口付近で開かれ、当日は登山客や地元からの買い物客でにぎわいました。また、販売と併せて「光城山1000人SAKURAプロジェクト」による桜の植樹や保全活動のPRも行われました。

訪れた望月和秀さん親子(豊科光)は、「朝収穫された地元のピーマンや玉ねぎが、安く生産者から買えるので安心。家族で食べるのが楽しみ」と話しました。マルシェは8月28日(日)にも午前8時から10時まで開かれます。



市民活動のはじめの一步を学ぶ

8/11 市民活動セミナー

自分の生活だけでなく、地域や社会もよくしようと行動すれば、それが「市民活動」の始まり——。市は、地域で活動を始めてみたい人向け「市民活動セミナー」を市役所で行いました。セミナーでは、活動の先輩となる2団体が発表。有機農法を学び実践する「Eisbar Platz」の大島和美さんは、「安全安心な食物を作りたいと思ったけど、1人ではできなかった。始まりは想いを同じくした子育て中のお母さん3人。徐々に活動に共感する仲間も増え、活動の幅も広がった」と話し、子育てを支援する「こちょこちょの会」赤沼美奈子さんは「動かないと何も始まらない。まずは行動し、良かったこと、悪かったこと省みながら、無理なく続けていくことが大事」と背中を押しました。



■**地元産のヒノキ・アカマツを使用 三郷西部認定こども園 起工**

三郷西部認定こども園の建て替え工事の起工式が7月28日、現地にて行われました。この日は工事関係者など50人が出席し、工事の安全を祈願しました。

新園舎では、三郷・堀金地域で伐採したヒノキ・アカマツ・カラマツを、柱や梁などの構造材としてふんだんに利用します。また、太陽光の集熱パネルを屋根に設置し、空気を床下へ循環させる設備を導入することで冷暖房に生か

します。

建設事業費は約8億1千万円。これから1年2カ月をかけて新園舎の建設を進め、令和5年8月の供用開始を予定しています。その後、園庭やプールなどの外構工事を行い、令和6年3月のしゅん工を目指します。

太田市長は、「より地域に根差し、将来を担う子どもたちを安心して育てていけるこども園となることを願う」とあいさつしました。



旧園舎跡で行われた起工式



完成イメージ図。令和6年3月にしゅん工予定

■**目指せ「受け止め力」アップ！〜共生社会づくりフォーラム〜**

多様性を尊重し合う地域の実現に向け、安曇野市共生社会づくりフォーラム(市・同実行委員会主催)が8月6日、市役所で開かれました。

講演では、コーチングアカデミー諏訪校長の土橋桂子さんが相手を否定せずに、会話を深める具体的な方法をアドバイスしました(下図参照)。また、土橋さんは、「自分の心に余裕がないと、他人の心を受け止めることは困難」と、自分の「心の栄養」を取



「まずは心に栄養を」と話す土橋さん

ることを勧め、趣味や習慣など、自分が満たされることを知ることが必要だと話しました。参加者はメモを取りながら、自分の心がプラスに動く

事柄を探りました。また、後半には、関係団体の代表者によるシンポジウムが行われ、誰もが輝ける共生社会をテーマに意見交換しました。

●**太田市長がメンバーに**

内閣府が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に太田市長が参加することになりました。今後、市内企業などにも女性リーダーを増やしていけるよう呼び掛けます。

受け止めるためにできること

- 否定しないで相手の話を聞く
- 会話するときは主語を工夫する
(①相手を主語にして聞く→②自分の意見を話す許可を取る→③私を主語にして伝える)

総務大臣表彰 受賞

行政相談委員 矢澤久男さん「市民のよりどころとして」



表彰状を掲げる矢澤久男さん(右)と太田市長(左)

平成23年から長年にわたり、行政相談委員として市民の皆さんからの相談・課題解決のために尽力され、令和4年度総務大臣表彰を受賞された矢澤久男さんが、7月21日(金)受賞報告に市役所を訪れました。

矢澤さんは、「気軽に相談できる市民のよりどころとして、まずはどんなことでも話を聞くことを心がけています。生活で困ったことや分からないことなどがある場合は、気軽に相談してください」と話しました。



行政相談委員による「心配ごと相談」は24ページ参照